

平成31年度の取り組み（変更箇所の抜粋一覧）

変更

下方修正

変更

上方修正

追加・変更

追加または変更

1. 安定した病院経営

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
収入の確保	紹介率・逆紹介率の上昇	紹介率・逆紹介率の上昇	紹介率 62% 逆紹介率 100%	変更	紹介率 70% 逆紹介率 100%
	診療報酬請求の最適化	取り漏れ等への対応	①EFファイルとHファイルの突合 ②診療現場におけるオーダー・薬剤のチェック 両者ともに完全一致をめざす	追加・変更	① EFファイルとHファイルの突合 ②診療現場におけるオーダー・薬剤のチェック 両者ともに完全一致をめざす
	その他の収入確保策	がん患者指導管理料算定件数を増加させる	管理料イ:450件 管理料ロ:600件 管理料ハ:250件	変更	管理料イ: 500件 管理料ロ: 500件 管理料ハ:250件
		リンパ浮腫複合的治療料の算定	リンパ浮腫複合的治療料月別実施件数 1(重症)2件/月 2(1以外)20件/月	追加・変更	リンパ浮腫複合的治療料月別実施件数 1(重症)2件/月 2(1以外)20件/ 6ヶ月
支出の削減	診療材料費の削減	医療材料の使用のルールの確立と推進	ルールの確立 4項目(告示名称ごと)実施	追加・変更	当センターにおけるベンチマーク導入
地域医療連携の強化	薬品費の削減	後発医薬品への切り替え	後発薬品比率: 数量ベース 90% 後発品目ベース(後発品発売のあるもの) 63%	変更	後発薬品比率: 数量ベース 90% 後発品目ベース(後発品発売のあるもの) 62.5%

2. 安全で信頼される医療の提供（医療の質の向上）

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
医療安全管理体制の充実	有害事象への対応	有害事象への対応研修の実施及び職員の確保	研修会の開催 年1回	変更	研修会の開催 年2回
施設・設備及び医療機器等の計画的な整備	医療機器の整備	当院の使命である、急性期医療及び高度医療を提供するための総合診療機能を維持するため、計画的な医療機器の更新及び新規購入を行う	血管造影装置更新	追加・変更	MR1号機のバージョンアップ

平成31年度の取り組み（変更箇所の抜粋一覧）

変更

下方修正

変更

上方修正

追加・変更

追加または変更

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
施設・設備及び医療機器等の計画的な整備	システムの計画的な更新	計画的なシステムの更新	病理検査システム	追加・変更	病理検査システム
			生理検査システム		生理検査システム
					診療費自動精算システム
					バーチャルスライドシステム
				3D医用画像解析システム	
患者サービスの向上	情報提供の推進	HPの充実	年度変更時は依頼後10営業日以内、随時は依頼後5営業日以内に更新	変更	ホームページをリニューアルする
良質なチーム医療	チーム医療の充実	リエゾンセンターを拠点に活動するチームの充実	合同のチームメンバーで回診、カンファレンス実施回数 週3回 リエゾンセンター勉強会実施回数 年4回	変更	精神科リエゾンチームでのカンファレンス 週3回 合同のチームメンバーで回診、カンファレンス実施回数 週1回 リエゾンセンター勉強会実施回数 年4回
			子育て支援	院内保育所の活用	通常保育利用者31人 二重保育利用者の増加 夜間育児利用者の増加 祝日保育の開始
		育児短時間勤務を取得しやすい環境作り	制度を周知する説明会 ・管理職向け1回 ・看護局向け1回	追加・変更	制度を周知する説明会 職員向け1回

3. 高度急性期病院の機能の充実

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
救命救急センターの充実	重度外傷センターの充実	外傷患者に集学的かつ専門的な救急医療サービスを提供する	各科に紹介があたり、あるいは救命救急センターで受け入れ、コンサルトを必要とする患者に関しては基本100%受け入れる	追加・変更	外科系外傷救急患者 300例
救命救急センターの充実	脳卒中センターの開設	脳神経外科が中心となり、脳神経内科、メディカルスタッフからなる脳卒中センターを立ち上げ、包括的な脳卒中診療を行う	SCU利用率 90%以上	変更	SCU利用率 95%以上

平成31年度の取り組み（変更箇所の抜粋一覧）

変更

下方修正

変更

上方修正

追加・変更

追加または変更

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
地域がん診療連携拠点病院の充実	体制の整備	将来的に指定要件が厳格化されることを見込んだ整備	緩和ケア講習受講率 がん診療医 90% 初期臨床研修2年目から初期臨床研修修了後3年以内の医師 100%	追加・変更	緩和ケア講習受講率 1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の受講率 90% 自施設に所属する臨床研修医の研修修了時の受講率 100% 緩和ケアセンターの設立
地域医療支援病院の強化	前方連携の強化	連携医訪問の実施	120件	変更	100件
		連携医優先予約診療患者数の増	3,300人	変更	3,500人
	後方連携の強化	退院支援の充実	入退院支援加算1 5,800件 介護支援等連携指導料 500件 退院時共同指導料2 130件	変更	入退院支援加算1 6,000件 介護支援等連携指導料 550件 退院時共同指導料2 140件
		連携システムの確立(療養先選択肢の拡大)	転院先となる病院・介護施設の訪問年間12件	追加・変更	転院先となる病院・介護施設 等 の訪問年間12件
災害拠点病院の充実	災害時における体制の整備	災害時の備蓄薬品等について、保健所、薬剤師会と連携体制を構築する		追加・変更	船橋市保健所、船橋薬剤師会、近隣病院との連携強化

4. 教育・研修等の充実

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	31年度の計画策定当初目標(変更前)		31年度目標(変更後)
教育・研修等の充実	臨床研修病院の充実	臨床研修病院として、卒後研修教育に力を注ぎ、将来地域に還元できるような医師を育成する	12名フルマッチ	追加・変更	12名フルマッチ JCEPの更新書面調査(平成32年度)までに指摘された改善点へ取り組む 1) 卒後研修センターとして院長直轄の組織図配置 2) 研修医の時間外手当への配慮